

製品区分別売上高

2009年3月期における当社グループの連結売上高は7,274億円となり、前期8,662億85百万円から16.0%の減少となりました。

当期のエレクトロニクス市場は電子機器(映像関連機器・PC・携帯電話等)の需要低迷傾向が見られ、第3四半期から

は世界同時不況を背景に電子機器全般の需要が大きく減少しました。また、自動車市場が原油価格高騰、世界同時不況の影響を受け大きく落ち込み、それにより自動車向けエレクトロニクス市場が不調でした。これらの結果、電子部品の需要は大きく減退し、下期には生産調整を余儀なくされました。さら

電子材料



● 主要製品

積層セラミックチップコンデンサ、
金属磁石、フェライト磁石、
コイル・トランス用フェライトコア

● 2009年3月期の業績概要

前期比27.5%の減収。「コンデンサ」は需要減退、
価格下落、円高の影響により主要製品向けの販売
が減少。「フェライトコア及びマグネット」は各々主
要製品向けの販売が減少。

電子デバイス



● 主要製品

インダクティブデバイス(コイル、トランス)、
高周波部品、電源製品、センサ、
圧電材料製品

● 2009年3月期の業績概要

前期比20.5%の減収。「インダクティブデバイス」
は主要エレクトロニクス製品向け、「電源」は半導
体を含む製造設備市場向けで各々販売が減少。

記録デバイス



● 主要製品

HDD用ヘッド、
HDD用サスペンション

● 2009年3月期の業績概要

前期比26.1%の減収。「HDD用ヘッド」は、需要
減退、価格下落及び円高が影響し減収。「その他」
はHDD用サスペンション事業が当期から本格的に
寄与し増収。

その他



● 主要製品

コンピュータ用データストレージテープ、
電波暗室、メカトロニクス(製造設備)、
エナジーデバイス(二次電池)、
EPCOSグループ製品

● 2009年3月期の業績概要

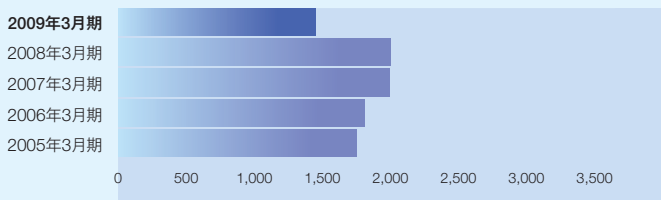
前期比38.0%の増収。EPCOSグループの下期
売上高679億83百万円が当期から連結対象となっ
たことと、エナジーデバイスの増収が要因。

に、需給環境の悪化により売価下落が進行したことや円が高騰したことも影響しています。

このような事業環境のなか、当社グループは構造改革を断行し、事業体質の改善を図るとともに、積極的な生産調整による在庫の適正化を進めました。また、2008年10月17日に

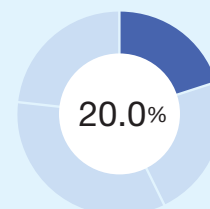
EPCOS AGとその子会社（以下、EPCOSグループ）を連結子会社としました。それに伴い、当社グループの当期業績には下期からEPCOSグループの業績を含めています。

● 電子材料の売上高推移（億円）

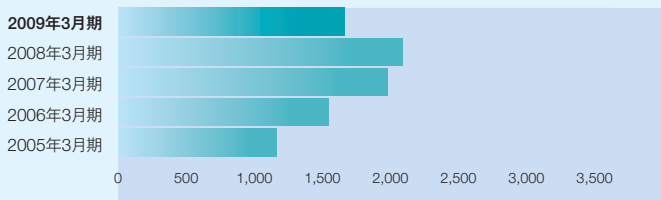


● 電子材料の売上高構成比

2009年3月期

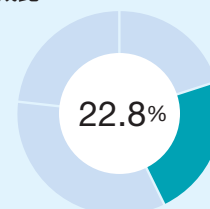


● 電子デバイスの売上高推移（億円）

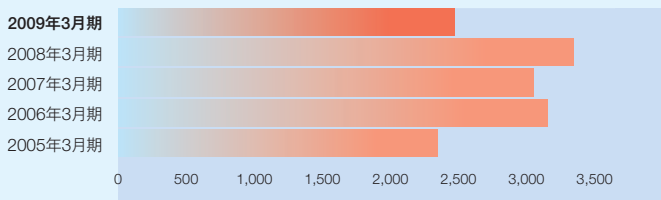


● 電子デバイスの売上高構成比

2009年3月期

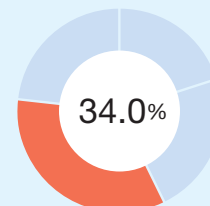


● 記録デバイスの売上高推移（億円）

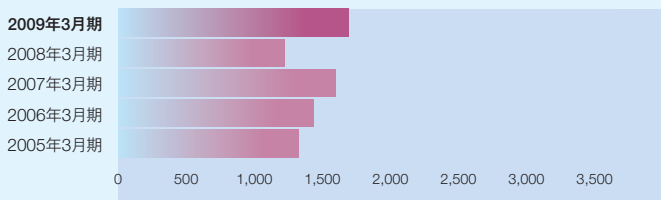


● 記録デバイスの売上高構成比

2009年3月期

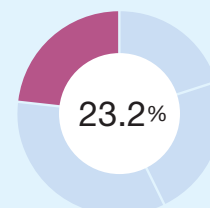


● その他の売上高推移（億円）



● その他の売上高構成比

2009年3月期



（注）記録メディア製品部門の売上高を含めています。